

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業
平成28年度 環境モニタリング調査結果

中間貯蔵・環境安全事業株式会社
北九州PCB処理事業所

<周辺環境>

要素	調査地点 ^(注1)	調査項目	単位	測定結果				年平均	頻度	(参考) 環境基準値等
				5月	8月	11月	2月			
大気	敷地南西端	PCB	mg/m ³	0.00000010	0.00000017	0.00000010	0.00000008	0.00000011	1年に4回	0.0005以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	0.024	0.018	0.57	0.020	0.158		0.6以下
		ベンゼン	mg/m ³	0.0026	0.0011	0.0088	0.0034	0.0040		0.012以下
水質 (海水)	雨水洞海湾出口沖	PCB	mg/L	定量下限値未満 ^(注2)	1年に2回 (自主的に4回)	検出されないこと				
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.060	0.065	0.067	0.063	0.064		1以下
地下水	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L				定量下限値未満 ^(注2)		1年に1回	検出されないこと
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L				0.060			1以下
土壌	雨水敷地出口付近	PCB	mg/L				定量下限値未満 ^(注2)		1年に1回	検出されないこと
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g				0.79			1000以下
底質	雨水洞海湾出口沖	PCB	(成分)	mg/kg			定量下限値未満 ^(注3)		1年に1回	—
			(溶出)	mg/L			定量下限値未満 ^(注2)			—
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g				4.1			150以下
生物 ^(注4)	雨水洞海湾出口沖	PCB	pg/g-wet				15000		1年に1回	—
		ダイオキシン類	pg-TEQ/g-wet				0.67			—

(注1:調査地点は添付2に示す)

(注2:定量下限値は0.0005mg/L)

(注3:定量下限値は0.05mg/kg)

(注4:調査対象はカメノテ)

※1. 施設停止のため、計画回数を実施していない項目がある。

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業
平成28年度 環境モニタリング調査結果(1期施設)

中間貯蔵・環境安全事業株式会社

北九州PCB処理事業所

<排出源>

要素	調査地点 ^(注5)		調査項目	単位	測定結果				頻度	管理目標値
					5月	7月	11月	2月		
排気 (1期)	洗浄排気1	1G1	PCB	mg/m ³ N	0.000026	0.0000026	0.000013	0.00048	1年に4回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.00048		0.0092	1年に2回	0.08以下
	洗浄排気2	1G2	PCB	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注6)	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)	1年に4回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.0000098		0.000021	1年に2回	0.08以下
	液処理系排気1	1G4	PCB	mg/m ³ N	0.0000053	0.0000084	0.000011	0.000042	1年に4回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.0015		0.00088	1年に2回	0.08以下
			ベンゼン	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)	1年に4回	45以下
	液処理系排気2	1G5	PCB	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注6)	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)	1年に4回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.00000084		0	1年に2回	0.08以下
			ベンゼン	mg/m ³ N	0.16	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)	1年に4回	45以下
	換気	1G6	PCB	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注6)	定量下限値未満 ^(注7)	0.000092	0.0000095	1年に4回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.000031		0.000025	1年に2回	0.08以下
			ベンゼン	mg/m ³ N		定量下限値未満 ^(注8)		定量下限値未満 ^(注8)		45以下
	分析室排気	1G7	PCB	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注6)	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)	1年に4回	0.005以下
ダイオキシン類			ng-TEQ/m ³ N		0.00000042		0.00000039	1年に2回	0.08以下	

(注5:調査地点は添付2及び3-1に示す)

(注6:定量下限値は0.00001mg/m³N)

(注7:定量下限値は0.000001mg/m³N)

(注8:定量下限値は0.09mg/m³N)

※1. 施設停止のため、計画回数を実施していない項目がある。

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業
平成28年度 環境モニタリング調査結果(2期施設)

中間貯蔵・環境安全事業株式会社
北九州PCB処理事業所

<排出源>

要素	調査地点 ^(注5)		調査項目	単位	測定結果						頻度	管理目標値		
					5~6月	7月	9月	10月	12月	1月(プラスマ他)			3月(2G7-2)	
排気 (2期)	特殊解体排気	2G1	PCB	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)				定量下限値未満 ^(注7)		1年に4回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.0000019	0.0000078							1年に2回
	中間処理排気	2G2	PCB	mg/m ³ N	0.000024	0.0000048	0.0015				0.00014		1年に4回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N		0.0027	0.0042							1年に2回
	真空加熱分離系排気	2G3	ベンゼン	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)				定量下限値未満 ^(注8)		1年に4回	45以下
			PCB	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注6)	定量下限値未満 ^(注6)	定量下限値未満 ^(注7)				定量下限値未満 ^(注7)		1年に4回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0000051	0.0000099	0				0.0000024			0.08以下
	液処理系排気1	2G4	ベンゼン	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)				定量下限値未満 ^(注8)		1年に4回	45以下
			PCB	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)				0.0000023		1年に4回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0000033	0.0000045	0.0000043				0.0011			0.08以下
	液処理系排気2	2G5	ベンゼン	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)				定量下限値未満 ^(注8)		1年に4回	45以下
			PCB	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)				定量下限値未満 ^(注7)		1年に4回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0	0.0000098	0.0000045				0.0000021			0.08以下
	プラズマ排気1	2G7-1	ベンゼン	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)	定量下限値未満 ^(注8)				定量下限値未満 ^(注8)		1年に4回	45以下
			PCB	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注6)	定量下限値未満 ^(注6)		定量下限値未満 ^(注7)			定量下限値未満 ^(注7)		1年に2回	0.005以下
			ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0000032			0.0000057					1年に2回	0.08以下
			硫黄酸化物	K値	定量下限値未満 ^(注9)			定量下限値未満 ^(注9)					1年に2回	K値=0.5以下 ^(注12)
			窒素酸化物	ppm	52			65					1年に2回	150以下 ^(注12)
	プラズマ排気2	2G7-2	塩化水素	ppm	定量下限値未満 ^(注10)			定量下限値未満 ^(注10)					1年に2回	100以下 ^(注12)
			ばいじん	g/m ³ N	定量下限値未満 ^(注11)			定量下限値未満 ^(注11)					1年に2回	0.01以下 ^(注12)
PCB			mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注6)		定量下限値未満 ^(注6)		定量下限値未満 ^(注7)			定量下限値未満 ^(注7)	1年に4回	0.005以下	
ダイオキシン類			ng-TEQ/m ³ N	0.0000051				0.0000087				1年に2回	0.08以下	
硫黄酸化物			K値	定量下限値未満 ^(注9)				定量下限値未満 ^(注13)				1年に2回	K値=0.5以下 ^(注12)	
換気	2G8	窒素酸化物	ppm	68				59				1年に2回	150以下 ^(注12)	
		塩化水素	ppm	定量下限値未満 ^(注10)				12				1年に2回	100以下 ^(注12)	
		ばいじん	g/m ³ N	定量下限値未満 ^(注11)				定量下限値未満 ^(注14)				1年に2回	0.01以下 ^(注12)	
分析室排気	2G9	PCB	mg/m ³ N	定量下限値未満 ^(注6)	定量下限値未満 ^(注7)	定量下限値未満 ^(注7)				定量下限値未満 ^(注7)		1年に4回	0.005以下	
		ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	0.0000096						0.0000051		1年に2回	0.08以下	

(注5:調査地点は添付2及び3-2に示す)

(注6:定量下限値は0.00001mg/m³N)

(注7:定量下限値は0.000001mg/m³N)

(注8:定量下限値は0.09mg/m³N)

※1. 施設停止のため、計画回数を実施していない項目がある。

(注9:定量下限値はK値=0.0044)

(注10:定量下限値は1ppm)

(注11:定量下限値は0.001g/m³N)

(注12:1時間平均値)

(注13:定量下限値はK値=0.012)

(注14:定量下限値は0.003g/m³N)

北九州ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業

平成28年度 環境モニタリング調査結果

中間貯蔵・環境安全事業株式会社

北九州PCB処理事業所

<排出源>

要素	調査地点 ^(注1)	調査項目	単位	測定結果		頻度	管理目標値
				7月	2月		
排水	下水排水渠	PCB	mg/L	定量下限値未満 ^(注13)	定量下限値未満 ^(注13)	1年に2回	0.003以下
雨水	敷地出口	PCB	mg/L	定量下限値未満 ^(注13)		1年に1回	0.003以下
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	1.6			10以下
悪臭	敷地境界 (風上)	アセトアルデヒド	ppm		定量下限値未満 ^(注14)	1年に1回	0.05以下
		トルエン	ppm		定量下限値未満 ^(注15)		10以下
		キシレン	ppm		定量下限値未満 ^(注16)		1以下
	敷地境界 (風下)	アセトアルデヒド	ppm		定量下限値未満 ^(注14)		0.05以下
		トルエン	ppm		定量下限値未満 ^(注15)		10以下
		キシレン	ppm		定量下限値未満 ^(注16)		1以下
騒音	敷地境界 (北)	騒音レベル	dB(A)		54(52)	1年に1回	70以下 (夜間65以下)
	(南)				60(61)		
	(東)				59(59)		
	(西)				59(58)		

(注1:調査地点は添付2に示す)

(注13:定量下限値は0.0005mg/L)

(注14:定量下限値は0.005ppm)

(注15:定量下限値は1ppm)

(注16:定量下限値は0.1ppm)